

LGBT理解増進事業について

1. LGBT理解増進の必要性

【根拠法令】性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律、
苫小牧市男女平等参画推進条例

- 男女平等参画都市を宣言するまちとして、性別を理由とした困難や差別の解消に向けて、性別を超え誰もが自分らしく生き生きと暮らすことができる男女平等参画社会の実現を目指す
- 当事者の生きづらさを解消するため、性の多様性に関する理解促進に努める

2. 主な取組

H30	4月	苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)にLGBTに関する啓発活動について掲載
R 2	2月	「市職員のための性の多様性を知り行動するためのサポートガイドライン」制定
R 3	3月	ALLY職員宣誓制度導入
R 5	1月	苫小牧市パートナーシップ制度導入
	4月	LGBTに関する出前講座開設
	7月	パートナーシップ制度導入記念講演会（KABA.ちゃん）開催
R 6	1月	パートナーシップ制度導入を記念して「にじいろ週間」設定
	7月	男女共用トイレ、更衣室を職員会館に設置
	8月	「多様な性を尊重するための行動指針」策定
	9月	LGBT理解増進講演会（はるな愛氏）開催
R 7	4月	パートナーシップ制度自治体間連携ネットワーク加入

3. 主な成果（R7.4月時点）

LGBT出前授業	R6：24回（全中学校含む）
ALLY職員宣誓制度	221人
パートナーシップ制度	宣誓8組
講演会聴講者数	840人（R6:400人、R5:440人）
PRIDE指標(※)2024 (※性的マイノリティが働きやすい職場づくりに取り組む団体を評価する指標)	最高賞であるゴールド認定とレインボー認定受賞。(道内自治体唯一)

4. 今後の取組予定

LGBT出前授業	PRIDE指標2025発表（11月）
LGBT理解増進講演会（12月）	にじいろ週間パネル展（1月）